

アメリカ西北部日本人移民年表(3)

——『大北日報』にみる日本人キリスト教会——

坂 口 満 宏

本年表は、「アメリカ西北部日本人移民年表(1)——『大北日報』にみる日本人キリスト教会——」(『キリスト教社会問題研究』第34号, 1986年), 同年表(2) (『キリスト教社会問題研究』第39号, 1991年)の続編である。上記2つの年表で1910年から28年までをおつかったので, 本号は残りの1929年1月から37年11月までを対象とし, 完結するものである。ただし底本とした国立国会図書館所蔵マイケル『大北日報』が1930年(年表(2)の解説で1931年を欠くとしたが, 1930年の誤記)をすっぽり欠落させているため, 本年表でも同年の記事年表を作ることができなかった。また『大北日報』は1937年12月以降も1942年2月の日系人総立ち退き直前まで発行されていたが, この時期の紙面も同マイケルに収録されていないため, 記事年表を作ることができなかった。こうした欠号部分については今後とも渉猟につとめ, 埋めていきたいと考えている。ご理解・ご協力を願う所である。

以下, 本年表が対象とした時期から1. 日本人会, 2. 日系二世, 3. 不況と戦争, 4. 日本人キリスト教会の4項目を中心に, それぞれの主な事項ならびに関係資料を提示することで解説としたい。

1. 日本人会の動向

北米日本人会商業会議所 1920年代、シアトルの日本領事館管轄内には15地方日本人会があり（ワシントン州14、モンタナ州1）、アメリカ西北部に在留する日本人一世と日系二世の福利増進を目的に活動していた。そのうち地方日本人会は日本領事館に対してその管轄地域に在留する日本人の身元を保証しうる権限いわゆる保証権を握っていたので、その実権は絶大であった。

ところが1924年移民法の施行によって移民としての日本人渡米者が絶えたため、25年、日本領事館は日本人会による保証事務制度を打ち切った。その結果各日本人会はその存立基盤と権威を失ってしまい、同時に保証料という大きな財源も失うことになった。その後多くの日本人会は老齢化する一世の医療対策やコミュニティチェスト（共同募金）、二世の日本語教育や青年組織の充実化などで実績を残したが、おおむね活力を低下させていった。西北部最大の地方日本人会である北米日本人会もその例外ではなかった。

こうした停滞状況を打開するため北米日本人会は、不況の谷底にあった1931年2月19日、ほぼ同一メンバーによって構成されていた日本人商業会議所との合併をはかった。それが北米日本人会商業会議所（Seattle Japanese Chamber of Commerce and Japanese Association of North America＝S&J）である。これ以降、シアトルでは1942年の日系人総立ち退きまで北米日本人会商業会議所（略して北商）が日本人コミュニティの中核として活動する。⁽¹⁾

太平洋沿岸日本人会協議会 地方日本人会の活力低下はそのまま連絡日本人会である米国西北部聯絡日本人会（地盤沈下に直結した。しかもこの傾向はワシントン州のみならず、カナダ・アメリカ太平洋沿岸地域すべての日本人社会に共通していただけに、太平洋沿岸日本人会協議会（以下、沿岸日会）を衰滅させることになった。

1929年7月16日、ポートランドで開催された第16回沿岸日会の初日出席者はわずか6名（米国西北部聯絡日本人会3名、中央聯合日本人会3名）。『大北日報』はそれを「聯合日会よりも教育大会が賑ふ」（第6007号）と皮肉ったほどだ。かつて小沢孝雄帰化権訴訟や二重国籍問題解決運動で活躍していた沿岸日会を知るものにとつて、その凋落ぶりにはあまりにも急激だったのである。この会議を最後に沿岸日会はその輝かしい歴史の幕を閉じてしまった。翌年シアトルで全米日系市民協会（JACL）が発足した。沿岸日会の消滅は文字通り一世と二世の新旧交替の象徴であった。

米国西北部日本人会協議会 1933年5月25日、米国西北部聯絡日本人会は定期総会で組織改造案を可決し、その名を米国西北部日本人会協議会と改めた。組織改造の要点は二つで、第1は従来の実行部を廃止し、単に地方日本人会の協議機関とし、協議会において決定した事項を処理するため委員会を組織すること、第2は代議員数を41名から37名に減らすとともに、地方日本人会の分担金総額も従来800ドルあまりを175ドルに減額するという大胆なものであった。⁽²⁾改造後、日本人会協議会は「産業委員会」において顕著な働きをしましたが、日米戦争の始まりとともに活動の停止を余儀なくされた。戦後、米国西北部日本人会協議会の残務は1949年に発足したシアトル日系人会に引き継がれ、1952年12月6日、斎藤領事の招集した各地の日系人代表懇談会において同協議会の残余金1200ドルを日本難民救済会、二世ベテランズ、大学生倶楽部、全米日系市民協会などへ寄付することが決まり閉幕している。⁽³⁾

社会事業活動の進展 在米日本人というマイノリテイ集団にとつて、一世の老齢化と二世人口の増加、それにもなう養老問題と保健衛生問題は双子の課題で、ホスト社会との共存をはかっていくうえで避けておれない緊急課題であった。この課題に対する基本的な思想と体制はすでに20年代にかたちづくられていた⁽⁴⁾ので、30年代はその進展期である。北南の発足後も社会部を中心に敬老会や年末恒例の慰問活動が実施されていた。30年代になっての顕著な活動といえ、⁽⁵⁾ 児童にたいする無料種痘接種、歯科検診、結核予防の無料健康診断であろう。これらの多くはホスト

社会の保健医療行政と連動して実施されたもので、カナダのバンクーバーで活躍した日本人健康相談所 (Japanese Clinic) とともに、日本人社会のホスト社会定住姿勢を具体的に示したものであった。⁽⁶⁾

ところがこうした日本人社会における社会事業活動を政治的に利用したのが1934年4月の天皇下賜金政策である。この政策は、満州事変以後、国際的に孤立しはじめた日本が海外における日本人経営組織・社会事業団体に下賜金を施すことで日本への統合をはかろうとしたもので、中国・東南アジア・ハワイ・南北アメリカ各地にある37の団体に実施された。しかしこの政策は海外各地の社会事業団体の実情に応じてなされたものではなかった。

世界恐慌後、日本円の為替相場は急速に下落していたため、下賜金5000円もドルに換算すれば1500ドル程度にすぎない。本格的な養老院や病院を建設しようとするには数万ドルが必要である (アメリカ救世軍日本人部社会事業館の新築には9万ドルあまりの経費がかかった)。当時の社会通念上、下賜金を受け取ったからには、日本人社会としても体裁の悪いものには利用できないという使命感にしばられる。しかし下賜金だけでは大事業をまかないきれない。資金は在留民からの寄付等で補充しなければならぬことになる。シヤトルでは領事の指導で北米日本人会商業会議所内に「御下賜金社会事業研究委員会」が組織され、下賜金の用途を研究することになった。領事 (日本政府) の意図はこれを機に後述する日本文化中央協会の組織化同様、在留民の統合をはかることである。だが、ハワイやロサンゼルスほど日本人の多くないシヤトルでは不況の影響もあって最後まで寄付金募集のめどがたたなかつた。結局「御下賜金社会事業研究委員会」では結論がだせず、下賜金は宙にういてしまうのである。⁽⁷⁾ 15年戦争下、日本政府は海外各地の日本人社会の統合をはかろうとするが、この下賜金策はその無謀なひきまわし策のさきがけであった。

2. 日 系 二 世

「第二世問題」 1910年代にアメリカで生まれた日系二世たちは、1930年代になると高等教育も終了し、社会へでて独立した生活を営みはじめる。かれらの言動には、しばしば親である一世たちの期待を裏切り、不安感をかきたてることがあった。一世からみた二世の現実と将来の問題、それが「第二世問題」である。⁽⁸⁾

一世と二世のギャップを埋めるため、ワシントン州の各地で座談会や懇親会が催された。その主たる関心事は二世の職業問題（一世の後継者問題）と結婚問題であった。いかに高等教育をうけても日系二世にたいする就職差別は厳しい。だからといって両親の家業を、その苦勞をみてきただけに、引き継ぐ気にもなれない。こうした一世と二世の苦悩をめぐりさまざまに議論された。シアトル近海で養蚕事業を振興し、二世の職場とする策などはその具体例であった。一方、結婚に関してはケーザル法という差別法（市民権をもつアメリカ女性が帰化不能外国人と結婚するとその市民権を喪失するという法律）があった。同法は1931年3月修正され、結婚後も市民権を保持でき、それ以前に外国人と結婚していた女性にも市民権が復活されることになったが、二世が白人との結婚を望むことに一世は複雑な思いをめぐらすのである。

シアトル日系市民協会 二世の政治的成長を端的に示すものが日系市民協会である。1928年から活動をつよめたシアトル・プログレッシブ・ソチズンズ・リーグは、荒井威弥（クラレンス・アライ）らを中心に太平洋沿岸各地の二世組織を糾合し、1929年のサンフランシスコ大会で二世の結束を強め、翌年、シアトルに全米日系市民協会（JACL）第1回大会を開催した。その後大会はロサンゼルス、サンフランシスコ、シアトルで開かれた。その歴史はビル・ホソカワ『120%の忠誠』にくわしい。⁽⁹⁾

ワシントン州ではシアトル、タコマ、ヤキマに市民協会の支部が作られ、それらは西北部日系市民協会を組織し連絡をとりあった。各市民協会は活動資金や大会運営費を捻出するためしばしば「大演芸会」や「バザー」、ダンスパーテ

イを催した。そのため一世たちから市民協会は娯楽団体だと思われたほどである。だがこうした行事が一世と二世の交流をはたし、二世の発言権をますことに役立っていた。またJACLの月刊誌『パシフィック・ソチズン』は、1933～39年の間、阪本好徳（ジミー・サカセト）の『クーリエ』社で発行されていた。

帰米日系市民協会 アメリカに生まれ育った二世の活躍が顕著になる一方で、幼い時日本へ送られ日本で教育を受けた帰米二世の動きも顕在化した。ソアトルでは当初、帰米二世もソアトル日系市民協会に属していたが、1932年独立の動きがはじまり、10月15日帰米日系市民協会がつくられた。かれらは「我等帰米二世は問題を起すを好むものにあらず。細胞の結合のうまぬ場合同性質のものをあつめ合ひ、大きく結合を計らんと云ふのが我々の念願であり主旨である」(『大北日報』第6995号)と声明した。帰米という体験をもつ二世だけで結束したいという願望は、アメリカを離れて日本にいても、アメリカに帰ってきて身のおきどころのないかれらのすなおな心情であった。声明の随所にでてくる「あははない」というそのひとことに帰米二世の思いがこめられていた。

それだけに帰米日系市民協会の発展は急速で、1932年11月女子部、12月にダンス、翌年1月には白河ゾーラーにも帰米日系市民協会ができた。33年12月から機関誌『帰米市民』を発行した。JACL同様、帰米日系市民協会も基金募集演芸会を開催したが、JACLが古典劇であれば帰米は新劇と対抗意識があらわれていた。

1936年のJACLソアトル大会で帰米組織とJACLとの合同が議論され、サンフランシスコの帰米組織は合同を決めたが、ソアトルの帰米組織は合同は時期尚早とし、両派の溝は埋まらなかつた。日中戦争がはじまるとソアトルの帰米日系市民協会は日本軍兵士慰問金募集演芸会を開催して、慰問金174ドル44セントを日本に送っている。強制収容所における二世の思想対立の承譜を明らかにするうえで、30年代の帰米日系市民協会の考察は欠かせないテーマの一つである。⁽¹⁰⁾

3. 不況と戦争

太平洋商業銀行の倒産 1929年10月ニューヨークを襲った株師の大暴落は、繁栄を謳歌していたアメリカ社会に一大恐慌を引き起こし、大量の失業者と経済活動の停滞をうんだ。ソアトルの日本人社会もこの大不況から逃れることができず、その終極は太平洋商業銀行の倒産となってあらわれた。

古屋政次郎の経営する太平洋商業銀行は、1927年12月の預金残高270万ドル、貸付金113万ドルあまりの中堅銀行だった。それが長引く不況によって1931年10月預金の引き出しと取引銀行からの借入金の一部回収にあり、10月23日支払停止に陥ったのである。⁽¹¹⁾ ワシントン州の在留日本人が2万人ほどだった時、太平洋商業銀行だけで1万2000口の預金口座をもっていたといわれるだけに、同銀行の倒産は在留日本人の死活問題であった。

北米日本人会商業会議所は直ちに銀行救済委員会を設置し、在留日本人は時局大演説会を開いて対策を協議した。在留民の希望はソアトルに支店をもつ住友・横浜正金両銀行から資金融資をうけ、太平洋商業銀行の再建をはかることである。しかし両銀行とも資金融資を拒否したため、自力再建をはからねばならなくなった。再建に必要な資本は25万ドル。だが銀行再建期限までに資金調達ができず、自力再建は断念された。1934年以降、毎年2月に25万ドル整理委員会総会が開催され、預金払い戻しは6回、総額6割5分7厘に達した(『大北日報』第8385号)。

産業委員会 底知れない不況に対する不安感がうずまくなか、西北部聯絡日本人会は1931年4月、産業委員会の設置を決めた。その目的は産業の振興をはかるため、各地方日本人会に依頼して農産物の種類、耕地面積、収穫高、売上高、農家の戸数、使用人数(人種別)、賃金等を調査すること、産業振興に関する講演会を開催すること、農業組合の設立を慫慂することにあつた。⁽¹²⁾ 翌年12月には産業委員会が主催して「ワシントン州農産物共同販売組合規則」

③ 阪社政次郎、本口語、西田、ノム

をつくるなど、不況の嵐から中小の自営農家を守る取り組みをおこなった。またニューデール政策に対しては賛同の立場をとっていたが、農業調整法(AAA)の実施には特別委員会を設け、慎重な討議を重ねていた。

満州事変の勃発 満州事変の勃発を『大北日報』はまず論評なしで合同通信の記事として報じた。その後アメリカ人が日本の中国侵略を非難し、日米戦争説を論じるようになると、1932年2月、北商は「日支問題に関し米国人は支那側の悪宣伝に迷はざれ事実を正視すること能はず徒らに日本及び日本人に対し人道の敵の如く誤解する者多ならず依つて北米日本人会商業会議所は極力是等米人の誤解を一層するため最善の努力を為す」(『大北日報』第6804号)と決議し、3月には仏教会で「日支事変戦死者大法会」を催した。7月には満州事変以後の在米中国人による日本商品ボイコット運動による損失調査をおこなっている。

日本文化中央協会 1933年日本が国際連盟を脱退し、国際的孤立の度合いを深めると、それに比例するように日本政府は在外日本人の統合と世論統制を強めた。外務大臣内田康哉の通達「在外邦人ノ指導啓発ニ関スル件」はそのさきがけである。⁽¹⁹⁾ これをうけて1934年1月28日ソアトル領事内山清は在留日本人関係者を領事官邸に集め、啓発運動を説いた。『大北日報』は翌日から「日本を理解せしむる運動」の連載をはじめた。ついで2月8日領事は日本文化の紹介と日米親善を目的とする「ソヤトル日本文化中央協会」を組織した。日本政府は同協会を筆頭に、新聞雑誌記者、二世機関、国語教育機関への援助・補助という名目で多額の金銭を投入し、操縦・籠絡をはかっていた。

日中戦争の勃発 『大北日報』は1937年7月7日の盧溝橋事件を翌日「北平附近に日支両軍の衝突ノ挑発的ない北支張自忠実軍ノ死傷は未だ僅少の模様」(第8350号)と報じてから、連日、東京からの通信を速報した。時には号外もだした。7月23日、北商が臨時役員会で献金・慰問の取りつぎを決めると各団体の献金募集運動がはじまり、聯合婦人団体は1ヶ月あまりで慰問金905ドル22セント(日本円換算3100円6銭)を集めた。応募人数が935人だったので

1人あたり1ドル弱に相当する。北商は8月27日に第1回分の慰問袋1000個、慰問金1500ドルを発送した。帰米日系市民協会は10月24日、慰問金募集演芸会を開催し、集まった慰問金174ドル44セントの発送を北商に依頼している。

アメリカ人から日本の侵略戦争に対する非難がたかまると、北商は「事変問答」と題する英文ペンレット1万部を発行し、アメリカ人の諸団体へ配布した。一方、領事は日本人会代表者、新聞記者、商店代表者を集め時局委員会を組織し、日本人社会の統合をはかった。北商はこれとは別に在留民の諸要求に即応できる実行機関として時局対策委員会を設置している。日本からやってきた剣道家の巡回講演がもてはやされ、日本主義が吹聴されるなかソアトルにも北米武徳会の支部が発足し、⁽¹⁴⁾日本人社会は急速に故国日本の侵略戦争にひきこまれていったのである。

4. キリスト教会

パイオニア牧師の引退と死去 このように1930年代は西北部の日本人社会にとって多くの点で時代の転換期であった。このことは日本人キリスト教会にもいえた。ソアトルの日本人教会の多くは1900年前後に設立されていたので(パイオニア教会：1899年、美以教会：1904年、長老教会：1906年、組合教会：1907年、聖公会：1908年、タコマ美以教会：1907年⁽¹⁵⁾)、30年代には多くの教会で25周年、30周年の節目を迎え、記念事業や伝道集会が催された。こうした歴史の積み重ねは同時にそれを築いてきた牧師の老齢化でもあった。1932年パイオニア教会の創立者・岡崎福松が引退(翌年、東京で死去)、同じく排日対策で活躍した組合教会の安部清蔵も悪暦を機に第一線から身を引いた。37年には長老教会の浦中牧師が73才で世を去っている。

不況と戦争のなかで 長引く不況のなか、ソアトルの日本人キリスト教会は基督教同盟会を中心に、20年代同様、クリスマス慰問をつづけた。34年にはセント地方の水害罹災地で同胞救済運動もおこなっている。

盧溝橋事件直後の7月20日、ソートルに開催された第7回西北部基督教協議会は「本協議会は吾が国難を想ひ、將^レた文^レだ^レ在留同胞間の実情に鑑み吾等教徒は一層現在の生活を引締め靈的にも一段の緊張覚醒せん事を期す」(『大北日報』第8365号)と決議した。だが、時代の流れはもはや靈的な緊張や覚醒だけでは押し留めることのできない重大な局面にはいりはじめたのである。

〔付記〕 本年表資料を作成するにあたりマイクロフィルム¹の閲覧に便宜をはかってくださった同志社大学人文科学研究所のみならず、並びに貴重な紙面を提供して下さった『キリスト教社会問題研究』に感謝いたします。なお、本資料の作成を通じて以下の拙論を公表することができました。ご参照ください幸いです。

『排日問題と太平洋沿岸日本人キリスト教団』(同志社大学人文科学研究所編『北米日本人キリスト教運動史』PMCC出版, 1991年所収)

“The Japanese Clinic in Vancouver, 1932—1942” (『キリスト教社会問題研究』第41号, 1992年)

『ソートル初期の日本語新聞』(田村紀雄氏と共同執筆, 『東京経済大学 人文自然科学論集』第92号, 1992年)

『在米日本人の『二重国籍問題』解決運動』(『ヒストリア』第138号, 1993年)

『日本人移民と社会事業』(『渋沢研究』第6号, 1993年)

註

(1) 北米日本人会商業会議所の活動内容についてはワシントン大学図書館「ニュースクリパトセクター」所蔵マイクロフィルム Japanese Association of North America Selected Records Accession No. 1235—3, Reel No. 4~5 を参照。以下、同マイクロフィルム所蔵資料を示す場合は, JANIA Acc. No. 1235—3, Reel No. 4~5 と略し, 第4, 第5リールに収録されていることを示すものとする。また『在外

日本人会関係雑件』第1巻(外務省記録 K-8-2-2-2)所収「機密第287号 北米各地ニ於ケル日本人会ニ関スル取調方ノ件」(1931年12月20日)には「北米日本人会商業会議所規則及議事法」ほかソートル領事岡本季正による調査記録が収録されている。

(2) 前掲『在外日本人会関係雑件』第2巻所収「普通第257号 米国西北部聯絡日本人会改造ニ関スル件」(1933年5月29

日) のゾフトル領事内山清の報告参照。

(3) 伊藤一男『アメリカ春秋(八十年)』(P.M.C.出版, 1982年) 184ページ。

(4) 拙稿『アメリカ西北部 日本人移民年表②』(『キリスト教社会問題研究』第39号, 1991年) 解説「社会奉仕活動の充実」の項を参照。

(5) 北米日本人会商業会議所社会部による事業については JANA Acc. No. 1235—3, Reel No. 5 S & J. Social Division の項を参照。

(6) 拙稿 “The Japanese Clinic in Vancouver, 1932—

1942” (『キリスト教社会問題研究』第41号, 1992年) 参照。

(7) 天皇后賜金をめぐる海外各地の日本人社会の動向については『在外本邦人社会事業関係雑件』(外務省記録 I-5-0-0-3) を参照。

(8) 「第二世問題」に関する広範な問題についてはユージ・イチオカ「第二世問題」(同志社大学人文科学研究所編

『北米日本人キリスト教運動史』P.M.C.出版, 1991年所収) を参照。

(9) ビル・ホツカラ『120%の忠誠』(有斐閣選書R, 1984年)。

(10) 二世の動向に関する領事報告としては『日系外人関係雑件』(外務省記録 K-1-1-0-9) を参照。

(11) 高嶋雅明「戦前期ゾフトルにおける日本人金融機関」(『経済理論』第248号) 参照。

(12) 『大北日報』第6663号 (1931年9月10日)。なお産業委員会の議事録については JANA Acc. No. 1235—2, Reel No. 2 を参照されたい。

(13) 『本邦移民保護援助並救済関係雑件』(外務省記録 J-1-2-0-17) 所収「通3機密合第402号」(1933年4月17日)。

(14) 北米武徳会については前掲伊藤一男『アメリカ春秋(八十年)』31～34ページを参照。

(15) 拙稿「排日問題と太平洋沿岸日本人キリスト教団」(前掲『北米日本人キリスト教運動史』所収) 表1(b)参照。

凡 例

I. 本年表は、各年ごとに地域・月日・事項・典拠の4欄に分けた。

II. 本年表の特色は、各項目内容についてその〈典拠文獻〉を示したことである。

本年表ではすべての典拠文獻を『大北日報』The Great Northern Daily News としたので、典拠欄の

G : 4512

 は典拠文獻である『大北日報』の第4512号に拠ったことを示している。典拠とした『大北日報』そのものにはしばしば号数表記の誤りがあるが、修正はおこなわず『大北日報』の表記通りとした。

III. 地域の表示について

地域の表示は、その地名をすべてカタカナで示した。

③(3) 移民年表 日本人移民年表 アメリカ年表

1929 (昭和4年)

1929年

地 域	月 日	事 項	典 拠
フナイフ	1. 13	国語学校ホールにおいてフナイフ日本人会春期総会。	G : 5853
オーパソ	1. 13	国語学校維持会総会。	G : 5853
シフトル	1. 18	シフトル・フログレックス・ソチ・ソチ・ス・リ・グ (日糸市民協会) 役員選挙。会長：荒井威弥，副会長：石原譲治，幹事：高吉きみ，会計：東ゆき。	G : 5857
フナイフ	1. 20	フナイフ日本語学校維持会昭和3年度決算報告。	G : 5861
ポートランド	1. 29	仏教会会堂においてポートランド日本人会第2回総会。	G : 5867
シフトル	2. 4	日本人商業会議所において北米日本人会昭和館研究委員会。	G : 5871
シフトル	2. 4	佐藤定吉の集中伝道はじまる。	G : 5871
タコマ	2. 19	タコマ仏教会総会。	G : 5890
ヤキマ	2. 21	ヤキマ組合教会新築会堂献堂式。	G : 5882, 5891
タコマ	2. 24	国語学校ホールにおいてタコマ日本人会春期定期総会。	G : 5889
ポートランド	2. 26	ポートランド日本人会事務所において第2回中央聯絡日本人会。	G : 5891, 5892
ホワイトバレー	2. 28	白河青年会創立総会。	G : 5890
ヤキマ	3. 10	ワバト日本人会場においてヤキマ仏教徒大会。	G : 5902
シフトル	3. 13	シフトル小児園定期総会。	G : 5903
シフトル	3. 18	基督教同盟会役員選挙。理事長：山鹿牧師，理事：各牧師，書記会計：東方遜，伝道部長：東海林，文書部長：川守田，社会部長：市田，教育部長：安部，日米親善部長：岡崎。	G : 5908
シフトル	3. 21	日本館において北米日本人会定期総会。会長に曾和徳三郎当選。	G : 5910
シフトル	3. 25~29	受難週連台歌教会閉催。	G : 5912

シアトル	3. 31	各教会において復活祝賀会。	G : 5916
サソソクソソソコ	4. 5～6	日系アメリカ市民協会第2回大会。	G : 5923, 5924
シアトル	4. 12	本願寺派内田晃融、仏法説教の特使としてシアトル滞在。	G : 5929
シアトル	4. 19	日本人商業会議所において北米日本人社会社会部臨時部会。流行性脳脊髄膜炎の予防法を注意。	G : 5936
シアトル	6. 11～12	北米日本人社会社会部主催無料児童種痘接種。	G : 5979
シアトル	6. 26	練習艦隊歓迎実行委員会結成。以後連日歓迎報道続く。	G : 5992
ポートルランド	7. 16～17	第16回太平洋沿岸日本人会協議会、教育関係者懇談会開催。	G : 6007～6008
シアトル	8. 3～7	海軍練習艦隊（浅間、磐手）シアトル訪問。シアトルの日本人社会は連日熱烈な歓迎行事。8月7日艦隊はタコマへ向かう。	G : 6023
シアトル	8. 13	日本館ホールにおいて安部清蔵牧師帰米報告講演会。	G : 6032
タコマ	8. 28	タコマ日本人会秋期定期総会。	G : 6046
シアトル	9. 16	タコマ日本人会教育部主催清沢冽講演会（「昭和日本の遠望」）。	G : 6061
シアトル	9. 20	北米日本人会社会部主催第二世風紀問題座談会。	G : 6064
シアトル	9. 24	コミュニティチェストはじまる。	G : 6066
ポートルランド	10. 1	ポートルランド日本人美以教会牧師植村清一郎、デソバーへ転任。	G : 6056, 6070
シアトル	10. 2	玉壺軒において青年聯盟（ユース・リーグ）葬会式。	G : 6074
シアトル	10. 14～16	組合教会、日本館ホールにおいて家庭問題特別講演会。	G : 6082
シアトル	10. 15	基督教同盟会主催奥村多喜衛牧師講演会。	G : 6081
シアトル	10. 16, 18	小林政助、奥村多喜衛の来訪を機に北米日本人社会社会部・教育部主催第二世問題懇談会で講演。	G : 6086, 6087
シアトル	10. 23～24	シアトル市仏教会において西北部沿岸開教使会議開催。	G : 6093
シアトル	11. 11～12	日本館において沿岸日本人キリスト教伝道50年記念演説会開催。	G : 6107
シアトル	11. 15	仏教会において無縁大法要を執行。	G : 6109

ソフトル	11. 18	日本人婦人団体（日蓮宗、浸礼、美以、聖公、仏教、ガールズ倶楽部、天理教、組合、マリノール等）代表者相談会を開催し、風紀矯正に関して市長に請願書を差し出す。	G : 6114
タワス	11. 30	タワス国語学校において聯絡日本人会教育委員会主催巡回講演会。	G : 6124
オーダートン	12. 7	聯絡日本人会教育委員会主催巡回講演会。翌日ケントで開催。	G : 6130
ソフトル	12. 9	練習艦隊歓迎寄付金の剰余でソフトル市に桜樹6種類3500本寄贈。12日セワード公園に植初め式を挙行。	G : 6130 G : 6134

編者注：原本としてゐる国立国会図書館所蔵『大北日報』マイクラフイルムは、1930年の同紙をすべて欠号してゐるため、年表記事を作成しえなかつた。

1931 (昭和6年)

地 域	月 日	事 項	典 拠
ソフトル	1. 4	日本人商業会議所、最終の総会を開催（北米日本人会と合同するため）。	G : 6454
ペーショソ	1. 4	ペーショソ日本人会総会、役員改選。	G : 6456
タコマ	1. 10~11	タコマ美以教会において信徒大会。	G : 6457
スポーケン	1. 11	スポーケン日本人会総会。参事員改選。	G : 6461
オーバソ	1. 11	オーバソ日本人会総会。役員改選。	G : 6461
タワス	1. 11	タワス日本人会総会。タワス日本語学校維持会も同日総会。	G : 6462
タコマ	1. 14	タコマ母の会、社会奉仕部を設置。	G : 6464
ソフトル	1. 17	ソフトル日系市民協会役員改選。 会長：阪本利徳、第一副会長：荒井敏弥、第二副会長：石原敏次、理事：高吉きみ子、会計：星出敏雄	G : 6466

ヤキマ	1. 25	ヤキマ日本人会総会。	G : 6474
ポートルランド	1. 30	ポートルランド市日本人会総会。	G : 6478
ソートル	2. 9	基督教同盟会総会。新役員決定。理事長：東海林牧師。	G : 6485
ソートル	2. 15	日本陌議において聯絡青年代表者会。ソートル日系市民協会は先に全米日系市民協会の支部となり、他団体への加入を許されていないため脱退。	G : 6490
ソートル	2. 19	日本館において北米日本人会と日本人商業会議所との合併総会。北米日本人会商業会議所となる。会長：沖山榮繁。	G : 6494, 6501
タコマ	2. 22	タコマ日本人会総会。	G : 6498
ポートルランド	2. 26	第4回中央州聯絡日本人会協議会。	G : 6501, 6502
タコマ	2. 28～3. 1	タコマ仏教会新会堂落成禮仏壇讚法要を挙行。	G : 6502
ワシントン	3. 3	ケーナル法修正案にフーバー大統領署名。修正法成立。	G : 6504
ソートル	3. 25	西北部聯絡日本人会実行部委員会、外務大臣幣原喜重郎に宛て「ソートル領事館昇格に関する申請書」「日系市民日本住居録作製に関する請願書」「老少年の孤独者呼称に関する請願書」を決議。	G : 6523
ソートル	3. 25	北商ホールにおいてソートル国語学校後援会定期総会。	G : 6523
ソートル	3. 25	北商ホールにおいてソートル国語学校後援会定期総会。	G : 6523
ソートル	3. 30～4. 3	基督教同盟会主催受難週連合説教会。	G : 6523
ソートル	4. 19	北商会議室において西北部聯絡日本人会教育委員会主催教役者・校長懇談会開催。	G : 6544
ソートル	4. 24	北商ホールにおいて西北部聯絡日本人会協議会開催。産業委員会の設置を決定。	G : 6548, 6549
ソートル	4. 24	日本館において長老教会主催、大北日報・北米時事而社後援による鋼琴賢舟（提琴家）演奏会開催。	G : 6549
ポートルランド	5. 5～11	ソートル聖公会の東海林牧師、ポートルランド伝道。	G : 6557

ヤキマ	6. 6	日会クラブ会場においてヤキマ農家生産者大会。	G : 6589
シフトル	6.25~30	美以教会山鹿牧師のロサンゼルス転任につき、各種集会。	G : 6599, 6603
シフトル	7. 16~17	北米日本人会商業会議所と医師会との連合による無料種痘接種。	G : 6617
ヴァンクーヴァ	7. 20	第3回米加国語学校教育懇談会開催。	G : 6621~6638
オーバン	8. 16	オーバン日本人会と日本語学校維持会総会。	G : 6645
シフトル	8. 19	日本館において第1回北米日本人会商業会議所総会。	G : 6646
タコマ	8. 26	国語学校ホールにおいてタコマ日本人会総会。	G : 6652
タコマ	8. 30	国語学校ホールにおいてタコマ国語学校創立20周年祝賀会開催。	G : 6655
シフトル	9. 9	西北部聯絡日本人会産業委員会、規定を作成。	G : 6663
タマス	9. 19	タマス日本人会ホールにおいて白河市民協会総会。	G : 6679
シフトル	9. 19	『大北日報』満州事変について合同通信、連合通信の記事を論評抜きで報道。	G : 6671
シフトル	9. 22	コミュニティ資金募集運動はじまる。	G : 6674
セレツク	10. 17	西北部聯絡日本人会巡回講演会。竹内幸次郎会長「滿洲問題に関する米人の誤解を正す」を講演。	G : 6698
シフトル	10. 23	古屋政次郎の太平洋商業銀行閉店倒産。24日、北米日本人会商業会議所参事委員会は銀行救済委員会を設置し、善後策の検討を開始。	G : 6702
シフトル	10. 27	日本館ホールにおいて在留同胞時局救済促進会主催時局大演説会開催。太平洋商業銀行救済のため住友銀行、正金銀行の援助を求める決議を採択。同日、ヤキマ、ペーショソ、タコマなど各地の日本人会も預金者保護、銀行再開にむけ協力する旨の決議を採択。	G : 6705
シフトル	10. 30	古屋政次郎、銀行の倒産に対して自分の能う限りの真心をもってその責任を賠償する覚悟にあると声明。	G : 6713
シフトル	11. 2	日本館ホールにおいて第2回在留民大会。住友、正金両銀行が資金	

1932 (昭和7年)

地 域	月 日	事 項	典 拠
シブトル	11. 9	融資を拒否したため在留民は両銀行の撤退を決議。銀行救済委員会は第1案（日本政府の資金援助）、第2案（住友、正金両銀行の資金融資）が失敗したため第3案の自立銀行再開案を決定。 太平洋商業銀行再開委員会、預金者に対して預金高の5割を一時的に差し戻し、残額を新たに創立される銀行へ預金することの承諾を求め書類を発送。銀行再開株式を募集。 基督教同盟会、銀行倒産による経済的難局を打開するため「教会へ向け」運動を開始。	G : 6710~6712 G : 6715 G : 6714
シブトル	11. —		

地 域	月 日	事 項	典 拠
シブトル	1. 9	シブトル日采市民協会総会。役員改選。会長：石原謙次、第一副会長：荒井威弥、第二副会長：石原夫人、記録幹事：高吉ゆりの、通信幹事：堀田まさ子、会計：星出敏男 日本語学校ホールにおいてフラインフ日本人会総会。 ワバト仏教会堂においてワバト仏教青年会発会式。	G : 6766 G : 6765 G : 6773 G : 6778
フラインフ	1. 10		
ワバト	1. 17		
ヤキマ	1. 24	ヤキマ日本人会総会。役員改選。	G : 6778
オーバソ	1. 26	オーバソを中心とするレタス、カリフラワーなどの農産物販売出荷機関としてオーバソ農産組合設立。	G : 6779
ポートルソソ	1. 29	ポートルソソ日本人会第5回総会。	G : 6783
シブトル	1. 30	西北部聯絡日本人会は前代議士坂井大輔、植原悦二郎、船中楠右衛門、中村嘉寿に対し衆議院選挙推薦状を発送。	G : 6782
タコマ	2. 7	タコマ仏教会総会。	G : 6792

③ 郷土史家 後 人 本 日 記 野 田 氏 氏 人 氏

〈1932年〉

ソートル	2. 10	日本館において元太平洋商業銀行預金者大会。39万ドルの不動産抵当物を預金者が預金額で引き取り整理することに決定。	G : 6792
ワバト	2. 20～21	ワバト日本人会ホールにおいて山東基督教青年部会開催。	G : 6802, 6805
ソートル	2. 21	日光楼においてパイキアリース農業組合創立。	G : 6801
ソートル	2. 23	カーリエ雑誌社において西北部市民協会実行委員会開催。	G : 6803
ソートル	2. 24	日本館ホールにおいて北米日本人会商業会議所総会。満州事変に関する決議を採択。	
		日支問題に関し米国人は支那側の悪宣伝に迷はされ事実を正視すること能はず使らに日本及び日本人に対し人道の敵の如く誤解する者多ならず依つて北米日本人会商業会議所は極力是等米人の誤解を一掃するため最善の努力を為す之が方法は役員に一任す 右決議す	
		昭和7年2月24日	G : 6804
ポートルラソンド	2. 26	仏教会堂において中央聯絡日本人会協議会。組織を理事制に改正。	G : 6807
タコヤ	2. 28	国語学校ホールにおいてタコヤ日本人会総会。	G : 6808
ソートル	3. 1	北米日本人会商業会議所の役員選挙を不公平とする日会革正会、日光楼に集会し声明を発表。	G : 6809
ポートルラソンド	3. 10	ポートルラソンド日本人会参事員会、満州事変について日本の行動を一般アメリカ人に伝えるためラジオ放送することを決定。	G : 6818
ソートル	3. 16	仏教会本堂において「日支事変戦死者大法会」。	G : 6822
ポートルラソンド	3. 26	仏教会において「日支事変戦死者追悼法会」。	G : 6831
ソートル	3. 30	ソートル国語学校後援会総会。	G : 6834
ソートル	4. 4	北米日本人会商業会議所社会部、例会において母の会、敬老会、生活改善座談会の開催を決定。	G : 6838

(3) 報 告 員 日 本 人 協 会 日 本 人 協 会 日 本 人 協 会

シアトル	4. 17	日本館においてマリノール学校資金募集演芸会。	G : 6849
シアトル	4. 25	日商ホールにおいて西北部聯絡日本人協議会。	G : 6855, 6856
ポートランド	5. 18	ポートランド日系市民協会、ポートランド日本人会法務部幹部と懇談し、州一般投票において共和党候補者を支持することに決定。	G : 6876
タコマ	5. 22	タコマ日本人会衛生部による種痘接種。	G : 6879
シアトル	5. 27	北米日本人会商業会議所社会部主催敬老会。	G : 6879
シアトル	5. 28~30	西北部仏教青年会聯盟大会。聯盟第1回役員を選出。	G : 6884
シアトル	6. 17	北米日本人会商業会議所社会部主催生活改善座談会。	G : 6901
ロサンゼルス	7. 27~29	全米日系市民大会開催。シアトル日系市民協会からは荒井威弥、阪本好徳が参加。	G : 6931, 6936
シアトル	7. 27	北米日本人会商業会議所商工部主催「支那人ボイコットに関する懇親会」(滿州事変以後の中国人不買運動による損失を討議)。	G : 6931
タコマ	8. 16	タコマ国語学校において西北部聯絡日本人会、ピヤス郡日本語学校維持会、連合会主催第4回米加日本語学校教育懇談会。	G : 6947~6949
シアトル	8. 16~19	日本人長老教会において第3回西北部基督教協議会開催。	G : 6950, 6952
タコマ	9. 11	日本人聖公会、500名収容の会堂新築落成式。	G : 6968
シアトル	9. 27	国語学校ホールにおいてタコマ日本人会総会。	G : 6982
シアトル	10. 1	北米日本人会商業会議所ホールにおいて帰米日系市民協会設立相談会。	G : 6986
シアトル	10. 3	北米日本人会商業会議所社会部、例会において病気の多い7、8月は無料応急手当を行い、同胞の保健と救済に努めると決定。	G : 6987
シアトル	10. 9	長老教会創立25周年記念運動の一部として基督教各派連合説教会。「不況打開」と題する説教あり。	G : 6992
シアトル	10. 11	錦華楼において帰米日系市民協会とシアトル日系市民協会の代表者	

シヤトルル	10. 13	会議。帛米日系市民協会の独立を認める。 帛米日系市民協会準備委員会、「声明書」を公表。 日本人長老教会25周年祝賀会。	G : 6994
シヤトルル	10. 14	北米日本人会商業会議所ホールにおいて帛米日系市民協会葬会式兼 総会開催。会長：宮本辰雄、副会長：日比谷陸美、海田敏、幹事： 岡丸正三、有賀太郎、服部秀雄、黒河幸一郎、久保三千穂、会計： 結城富雄、松浦嘉朗、書記：狩野輝光、野沢克己。	G : 6995
シヤトルル	10. 15	西北部聯絡日本人会産業委員会、借地料値下げについて懇談。	G : 6998
シヤトルル	10. 28	北米日本人会商業会議所ホールにおいて帛米日系市民協会臨時総 会。基金募集演芸会、女子部創立などを協議。	G : 7009
シヤトルル	10. 29	北米日本人会商業会議所ホールにおいて帛米日系市民協会女子部創 立総会。部長：本田さと、副部長：宮本恵美子、委員：村上千鶴 子、鎌田まさ子、高木鑑子、高木千代子、佐々木生子、横山ます 子、勝呂愛子。	G : 7008
シヤトルル	11. 6	日本館において帛米日系市民協会弁論会。	G : 7016
シヤトルル	11. 12	日本館において帛米日系市民協会、基金募集演芸会開催。	G : 7020
シヤトルル	11. 13	基督教同盟会主催秋期家庭伝道集会。	G : 7024
シヤトルル	11. 15~17	シヤトルル仏教会において同胞先亡者無縁大法要開会。	G : 7024
シヤトルル	11. 15	国語学校において北米日本人会商業会議所社会部主催一般児童に対 する歯科検診。11. 26, 12. 3, 12. 10にも実施。	G : 7028, 7033
シヤトルル	11. 19	タコマ美以教会創立25周年祝賀会。	G : 7025
タコマ	11. 20	日本人聖公会において第3回西北部基督教青年大会。	G : 7032, 7033
シヤトルル	11. 25~26	西北部聯絡日本人会産業委員会主催による中央販売機関規約原案作 製委員会で「ワシントン州農産物共同販売組合規約」できる。	G : 7046
シヤトルル	12. 12		G : 7046

1933 (昭和8年)

地 域	月 日	事 項	典 拠
ダラス	12. 18	ダラス日本語学校においてダラス日系市民協会創立。	G : 7052
シアトル	12. 22	北米日本人会商業会議所社会部による年末慰問活動始まる。基督教同盟会は餅つき奉仕、救世軍社会綱には99ドル73セントの献金。	G : 7056, 7057
シアトル	1. 2	錦華楼において日系市民協会、新年親睦会。	G : 7031
シアトル	1. 4~5	組合教会において基督教同盟会新年修養会。	G : 7033
シアトル	1. 6	シアトル仏教会新年会。	G : 7035
ワバト	1. 7	ワバト美以教会春期総会。	G : 7038
ダラス	1. 8	ダラス国語学校において白河ヅラレー日系市民協会答会式。	G : 7036
フサイフ	1. 8	日本人会ホールにおいてフサイフ日本人会総会。	G : 7039
ベルビュー	1. 8	ベルビュー日本人会総会。	G : 7050
シアトル	1. 14	アメリカ人商業会議所において北米日本人会商業会議所主催新渡戸稲造講演会。聴衆2000名。	G : 7042
ワバト	1. 15	ワバト会堂において仏教会定期総会。	G : 7045
シアトル	1. 22	長老教会定期総会。組合教会定期総会。	G : 7046, 7047
ヤキマ	1. 22	ワバト日本人会場においてヤキマ日本人会総会。	G : 7049
ポートルランド	1. 30	家庭学校ホールにおいてポートルランド日本人会第6回定期総会。	G : 7056
シアトル	2. 5	組合教会において安部清蔵牧師還暦祝賀会。	G : 7060
ポートルランド	2. 5	オレゴン州議会下院案として出された農産物販売法案について中央聯絡日本人会臨時総会開催。	G : 7060, 7061
ダラス	2. 5	ダラス国語学校ホールにおいて白河ヅラレー日系市民協会第1	

↑1933年			
フレイマ	2. 11	回月並会開催。	G : 7062
ダコマ	2. 12	西北部聯絡日本人会教育委員会巡回教育講演会開催。聴衆300名。 ダコマ美以教会において第3回信徒大会。	G : 7067
シアトル	2. 13	長老教会において基督教同盟会総会。理事長に安部清蔵就任。	G : 7068
ダコマ	2. 15	国語学校ホールにおいてダコマ日本人会総会。	G : 7070
ヤキマ	2. 18~19	山東部基督教青年大会開催。	G : 7073
シアトル	2. 24	日本館において北米日本人会商業会議所主催教育映画会。2回の映画に入場児童1400名。	G : 7077
ポートランド	2. 26	尖州聯絡日本人会第6回定期総会。実行部委員選挙。	G : 7080
シアトル	3. 5	日商ホールにおいて帰米日采市民協会総会。	G : 7084
ポートランド	3. 21	ポートランド日本人会において尖州日本人体育協会成立。	G : 7099
シアトル	3. 28	日本海軍練習艦隊（八雲、磐手）シアトル入港。各地で歓迎会。	G : 7103
ポートランド	4. 9	松岡洋右国際連盟会議首席全権講演会。聴衆1700名。	G : 7116
セント	4. 9	セント聖公会においてヴァレー基督教青年大会。	G : 7118
シアトル	4. 10~14	基督教同盟会主催受難週連合集会。	G : 7110
シアトル	4. 16	日商ホールにおいて帰米日采市民協会女子部によるパザー開催。	G : 7120
シアトル	4. 29	日本館において北米日本人会商業会議所主催天長節。	G : 7131
シアトル	5. 7	帰米日采市民協会定期総会。会則を改正し、ハーモニカ、弓道、水泳の各部を設立。	G : 7138
タマス	5. 13	タマス国語学校ホールにおいて白河ヴァレー帰米日采市民協会春期総会。	G : 7149
シアトル	5. 19	帰米日采市民協会事務所ホールにおいて一世と二世の親睦・融和を	G : 7149
シアトル	5. 25	はかる座談会を開催。	G : 7149
シアトル	5. 25	日商ホールにおいて西北部聯絡日本人会定期協議会。実行機関は単	G : 7149

シアトル	5. 30	なる協議機関となり、米国西北部日本人会協議会と改称。法務委員会、教育委員会は廃棄され産業委員会のみ存続。	G : 7154
シアトル	6. 2	キヤビタルヒルにおいて北米日本人会商業会議所主催真珠祭。浸礼教会において岡崎福松牧師引退式。	G : 7155 G : 7158
シアトル	6. 7~9	北米日本人会商業会議所社会部主催種痘接種。940名に接種。	G : 7164~7166
バーケレ	6. 11	沿岸日本人美以教会年会において教役者の異動決定。タコマの藤村牧師はフランスに転じ、その後任はロサンゼルス宗牧師。ワバトの広田牧師、ペーカースフィールドに転じ、後任にサンワテオの高橋グレース、スポークソンの大山ワリー、ロサンゼルスに転じ田辺繁雄が就任することとなる。	G : 7169 G : 7173
オーバン	6. 18	第10回救世軍主催夏期休暇学校開校式、グリーン河畔にて開催。	G : 7185, 7189
シアトル	7. 2	病氣療養中の大北日報社社長青嶽・竹内幸次郎死去。55歳。7日シアトル仏教会において葬儀委員長奥田平次司式のもと社葬執行。	G : 7207 G : 7221
シアトル	7. 28	北米日本人会商業会議所法務部会において同胞各産業部門代表者会開催。ルーズベルト大統領の全国産業復興法に賛同する決議を採択し、シアトル商業会議所を通じて同決議文を大統領に送達。	G : 7218 G : 7226
ポートランド	8. 14~15	美以教会において美以派西北部部会開催。	G : 7235
シアトル	8. 19~20	ソレイランドにおいて日本文化を紹介する日系市民協会後援日本ナイト、日本デー開催。	G : 7239
タコマ	8. 22	国語学校ホールにおいてタコマ日本人会総会。	
ポートランド	9. 4~5	ニューバース・ホフ・ウップクラフト館において西北部日系市民協会連合第2回大会開催。出席者総数289名。	
シアトル	9. 8	日本館において日系市民諸団体連合会による北米朝日記者村山有の「満州討匪」従軍談を開催。	

ソアトル	9. 24	日商ホールにおいて西北部帰米日系市民懇談会開催。	G : 7252
ソアトル	9. 26	5年間ソアトルに在任していた救世軍の市田愛之助大尉、夫人の健康上、ロサンゼルスに転任。	G : 7253
ソアトル	10. 1	帰米日系市民協会定期総会。会長：日比谷隆美、副会長：海田敏、同武田万里子、幹事長：遠藤希、幹事：緒方栄治、野沢克巳、宮本えみ子、横山ます子、会計：斎藤敏二、同補佐：佐々木生子、書記：狩野輝光、同補佐：米村養子	G : 7258
オーバン	10. 2	オーバン日本語学校において白河ツレー日系市民協会、一世との協力融和、二世の日本語奨励を目的に雄弁大会を開催。	G : 7260
ザイクトリア	10. 15	新渡戸稲造、カナダのザイクトリアで病死。72歳。	G : 7270
ソアトル	10. 17～19	基督教同盟会主催秋季家庭集会開催。	G : 7270
ソアトル	10. 24	一般キリスト教徒の信仰教養と日曜学校教師ならびに個人伝道者養成を目的に毎週火曜日、長老教会において聖書学院夜学校開校。	G : 7272
ソアトル	10. 29	日本館において帰米日系市民協会、基金募集演芸会開催。	G : 7280
ソアトル	10. 30	救世軍オークラフ小隊より平原武丸大尉、ソアトルに着任。	G : 7284
ソアトル	11. 5	ポートルランド家庭学園創立20周年祝賀会。	G : 7285
ソアトル	11. 13	救世軍平原大尉と北米日本人会商業会議所社会部、家庭慰問を開始し、家庭事情を聴取。	G : 7295
ソアトル	11. 15	仏教会本堂において同胞先亡者無縁大法要会開催。	G : 7297
ソアトル	11. —	全米日系市民協会機関誌『パシフィック・ソチペン』11月より『フリーユ』社の阪本好徳が編集し、ソアトルで発行。	G : 7299
ソアトル	12. 1	日本人浸礼教会において第4回西北部青年基督教大会開催。	G : 7310, 7311
ソアトル	12. 20	基督教同盟会のクリスマス慰問。各慈悲病院、刑務所に慰問品配布。フューランド結核病院9名、ジョージタウン郡立病院17名、養	

1 9 3 4 (昭和9年)			
地 域	月 日	事 項	典 拠
シアトル	12. 21~22	老院1名、ワラワラ刑務所4名、マクネル刑務所15名。北米日本人会商業会議所社会部、各病院に同胞を見舞いゾレゼントを配布。	G : 7326
シアトル	12. 26	婦米日系市民協会の雑誌『婦米市民』創刊される。	G : 7328
シアトル	12. 29	日本館において皇太子降誕奉祝会。	G : 7329 G : 7333
タマス	1. 7	白河仏教会において白河ヴァレー婦米日系市民協会基金募集賛学会。	G : 7335
シアトル	1. 8	基督教同盟会主催新年修養会。	G : 7336
シアトル	1. 9	基督教同盟会主催のケント方面水害罹災地同胞救済運動始まる。	G : 7339, 7341
フナイフ	1. 14	フナイフ日本人会定期総会。	G : 7343
シアトル	1. 14	組合教会総会。安部清蔵牧師の組合教会幹任を可決し、巡回伝道者として家庭を中心とした独立伝道にあたることとした。	G : 7344
オーバン	1. 14	オーバン日本人会春期総会。	G : 7346
シアトル	1. 20	コリンス公園内会館において日系市民協会総会。シアトル市長・市議会議員予備選挙に関する対策を討議。	G : 7347
シアトル	1. 20	聖公会信徒総会。	G : 7347
タマス	1. 27	タマス日本語学校講堂において白河ヴァレー婦米日系市民協会主催雄弁大会。	G : 7356
シアトル	1. 28	シアトルの内山領事、日米親善の文化啓発運動を推進するため領事官邸に在留日本人関係者を集めて協議。	G : 7355

ソヤトル	1. 29	『大北日報』社説で「日本を理解せしむる運動」の連載はじまる（2月3日まで6回連続）。	G : 7355~7360
ポートランド	1. 30	仏教会においてポートランド日本人会第7回定期総会。	G : 7358
サウスバーク	2. 4	サウスバーク日本人会定期総会。	G : 7363
タマス	2. 4	タマス日本人会定期総会ならびに一世と二世の懇談会。	G : 7364
ソヤトル	2. 8	領事官邸において日本文化の紹介・日米親善を目的とするソヤトル日本文化中央協会発足。規約を決め、委員長に奥田平次が就任。	G : 7366
ソヤトル	2. 12	帰米日系市民協会機関誌『帰米市民』2月号発行。	G : 7368
ソヤトル	2. 12	浸礼教会において基督教同盟会総会。役員改選。理事長津田牧師。	G : 7369
ソヤトル	2. 18	マリノール・カソリック婦人会創立される。	G : 7375
ソヤトル	2. 19	日本館において太平洋商業銀行閉鎖後組織された25万ドル整理の第1回定期総会開催。委員、相談役を選定。	G : 7374
ソヤトル	2. 21	日本館において北米日本人会商業会議所春季定期総会。教育部と社会部合併して社会教育部となる。	G : 7376
ソヤトル	2. 24	ソヤトル日本文化中央協会、南部ソヤトル連合同盟会の依頼に応じ米人商業公会堂において日本武道と演芸を紹介。	G : 7379
ソヤトル	2. 25	日本館において日系市民協会の資金募集演芸会開催。	G : 7379
ポートランド	2. 26	仏教会堂において央州聯絡日本人会第7回定期総会。	G : 7380, 7382
タマス	2. 27	タマス日本語学校ホールにおいて白河クレー帰米日系市民協会主催一世と二世の座談会開催。	G : 7379
タコマ	2. 27	国語学校ホールにおいてタコマ日本人会春季定期総会。	G : 7383
ソヤトル	3. 6	日本館において大北日報社主催「時局大講演会」。講師東京日日新聞社営業局長長岸井寿郎。	G : 7384
ソヤトル	3. 8	ビルゲリア教会主催のジャパソナイトにおいてソヤトル日本文化中	

シフトトル ポータルソド	3. 16 3. 17	央協会、日本におけるキリスト教について講演。 浸礼教会において浸礼教会主催国際親善音楽会。 史州聯絡日本人会農家援助特別委員会と各団体代表者會議、仏教会 堂において農業者大会を開催。一致団結して難局打破を決議。 マリノール校、基金募集の大演芸会開催。	G : 7385 G : 7394
シフトトル	3. 25	監督教同盟会主催受難週連合集会。	G : 7403
シフトトル	3. 26~30	基督教同盟会主催受難週連合集会。	G : 7402
ワバト	3. 31	ワバト日本人会において同日会産業部主催邦農大会開催。	G : 7414
タマス	4. 1	国語学校ホールにおいて白河ツヅレ一掃米日糸市民協会春季總會。 白人長老教会大ホールにおいて白河平原基督教青年連合大会。	G : 7407
オーバソ シフトトル	4. 7 4. 24	北米日本人会商業會議所社会教育部第 1 回部会開催。保健、慈恵、 教育、労働、家庭、講演の 6 部門を設置。	G : 7416 G : 7429
シフトトル	4. 29	北米日本人会商業會議所社会教育部に天皇下賜金5000円（海外37国 体への下賜金政策の一環）。	G : 7433
シフトトル	5. 2	シフトトル国語学校夜学部開始。	G : 7436
シフトトル	5. 6	日本館においてシフトトル日本文化中央協会、基金募集大演芸会開 催。	G : 7439
シフトトル	6. 25~26	北米日本人会商業會議所主催種痘接種。2 日間で265名。	G : 7482
シフトトル	7. 24	北米日本人会商業會議所会議室において沙港連合婦人会臨時集會開 催。愛国婦人会資金として100円の寄付を決定。	G : 7505
シフトトル	7. 31	日本館において北米日本人会商業會議所主催河井道子講演会。	G : 7511
シフトトル	8. 4~5	日蓮教会主催盆踊り大会、盛大に挙行。	G : 7515
タマス	8. 5	日本人会ホールにおいてタマス日本人会第60回定期總會。	G : 7516
シフトトル	8. 7	『大北日報』に英文欄新設される。主任記者篠崎すみ子、スホーズ 記者若松典夫、オベレーター寄田喜直。	G : 7516

シアトル	8. 7	日弁弁護士荒井威弥がキンソング郡第37区より州下院議員共和党候補として立候補したことをうけ、同胞有志60余名によって荒井威弥後援会組織される。	G : 7517
シアトル	8. 8	北米日本人会商業会議所において西北部日本人会協議会開催。	G : 7517, 7518
シアトル	8. 15	日本館において荒井候補後援同胞有志大演説会開催。	G : 7524
ポートルランド	8. 17	ポートルランド日本語学校において第5回米加教育関係者懇談会開催。	G : 7527, 7528
タコマ	8. 22	国語学校ホールにおいてタコマ日本人会秋期定期総会。	G : 7531
シアトル	8. 28~30	第4回西北部基督教協賛会開催。市内各地で伝道集会。	G : 7535
シアトル	8. 28	北米日本人会商業会議所秋期定期総会。青年部の設置を可決。	G : 7535
サソノラソンスコ	8. 30~9. 3	基督教女子青年会館において全米日系市民大会開催。	G : 7537
シアトル	8. 31~9. 1	関西学院大学教授岩崎武夫を招き基督教同盟会主催伝道大講演会。	G : 7536
シアトル	8. —	荒井候補援助のため日系二世によって選挙委員会設立され、キンソング郡内の日系有権者を巡回して署名を集める。	G : 7523
シアトル	9. 7	日本館において荒井候補者の第2回政権発表演説会ならびに全米日系市民大会報告演説会開催。	G : 7542
シアトル	9. 8	日商ホールにおいて日系市民協会臨時総会。下院議員候補者について討議。	G : 7544
シアトル	9. 11	荒井候補者、予選投票の結果、第37区内5名の共和党候補者中最下位で落選。	G : 7546
シアトル	9. 23	美以教会創立30周年記念伝道集会挙行。	G : 7559
シアトル	10. 7	婦米日系市民協会定期総会。	G : 7569
シアトル	10. 12	救世軍の山室軍平中將、ロンドンからの帰途、太平洋沿岸各地を歴訪。日本館において説教。	G : 7573

シアトル		10. 24	国語学校校長で東光塾々長の淡影・高島虎太郎死去。58歳。	G : 7582
タコマ		10. 24	タコマ日系市民協会創設。会長：中村照夫、第1副会長：村井勇吉、第2副会長：近造よし子、記録理事：杉本貞子、通信理事：山根一夫、会計：吉原ローイ。	G : 7584
シアトル		11. 8~15	首豊の伝道者新里貫一による伝道集会。	G : 7595
シアトル		11. 11	日本館において帰米日系市民協会演芸会。82ドル50セントの純益。	G : 7593, 7622
タムス		11. 29	タムス国語学校において白河ヴァレー帰米日系市民協会秋季総会。	G : 7615
シアトル		12. 20	シアトル仏教会において北米仏教開教35周年慶讃法要。	G : 7631
シアトル		11. 30	白人組合教会において第5回西北部青年大会。	G : 7612
シアトル		12. 24	基督教同盟会によるクリスマス慰問。フアラソンド結核病院10名、郡立病院19名、マクネール刑務所14名、ワラワラ刑務所4名。	G : 7634

1935 (昭和10年)

地 域	月 日	事 項	典 拠
ペーショソ ホワイトヴァレー	1. 4 1. 8	コミュニティホールにおいてペーショソ日本人会定期総会。 白河仏教会において白河ヴァレー帰米日系市民協会基金募集大演芸会開催。来会者300名。	G : 7642 G : 7643
フナイフ	1. 13	フナイフ日本人会春期定期総会。	G : 7647
サウスバーク	1. 20	サウスバーク青年会、同青年会館において定期総会兼新年会。	G : 7655
シアトル	1. 27	日本人長老教会新年大懇談会。	G : 7659
シアトル	1. 27	日本館において帰米日系市民協会芸術部と太陽倶楽部、東北冷害義捐金募集目的の新春大演劇会を開催。収入総額324ドル余り。	G : 7659, 7666
ヤキマ	1. 27	日本人会ホールにおいてヤキマ日本人会総会。	G : 7661

アメリカ西北部日本人移民年報(3)

ポートランド	1. 28	ポートランド市日本人会定期総会。	G : 7661
シアトル	1. 29	大北日報社、錦華楼において結婚問題に関する二世の意見を聴取。	G : 7661
シアトル	1. 一	婦米日系市民協会機関紙『婦米市民』正月号発刊。	G : 7670
ダラス	2. 2	ダラス日本人会春季総会。	G : 7668
シアトル	2. 7	太平洋商業銀行倒産・25万ドル整理委員会定期総会、日本館に開催。	G : 7667
シアトル	2. 20	日本館において北米日本人会商業会議所春季総会。	G : 7680
シアトル	3. 4	ワシントン州AAA法案の対策をめぐって西北部日本人会協議会産業委員会、特別委員会を設けて検討開始。	G : 7690, 7693
ヤキマ	3. 10	仏教会において州AAA法案対策の農業大会開催。150名参加。	G : 7698
シアトル	3. 28	北米日本人会商業会議所ホールにおいて国語学校維持会定期総会。	G : 7712
シアトル	3. 31	婦米日系市民協会女子部、日商ホールにおいて「バー」開催。	G : 7713
ダコワ	4. 7	ダコワ美以教会において基督教青年大会開催。	G : 7721
シアトル	4. 18~19	日商ホールにおいて北米日本人会商業会議所社会部主催の種痘接種。二日間の接種種者総数144名。	G : 7729, 7730
シアトル	4. 27~28	日本館において日系市民協会、基金募集の大演奏会開催。	G : 7735
アイダホ	5. 26	ソイソ・ウォール市郊外のカンテソフエワ・グラソンドにおいて南アイダホ日系市民協会発会式。	G : 7766
ワシントン	6. 25	ワシントン系退役軍人に市民権を認める法案が連邦議会を通過し、ワラソクリン・ローズベルト大統領、法案に署名して成立。	G : 7784
シアトル	7. 5~18	佐藤定吉特別大伝道連続講演会、各教会で開催。	G : 7787, 7796
シアトル	7. 20	まねきにおいてシアトル日系市民協会主催米国星条旗授与感謝晩餐会開催。	G : 7806
シアトル	7. 20	婦米日系市民協会機関誌『婦米市民』夏季号発刊。	G : 7815

アメリカ西北部日本人移民史料(3)

ポートランド	7. 29～8. 3	リード大学において第2回日米学生大会開催。	G : 7812
シアトル	7. 31	北米日本人商業会議所ホールにおいて西北部日本人協議会。	G : 7814
シアトル	8. 10～13	シアトル日蓮宗教会, 創立20周年記念祭。	G : 7824, 7826
オーバン	8. 11	救世軍の夏季林間学校において父兄招待のバンザー。	G : 7826
タマス	8. 18	タマス日本人会第62回定期総会。	G : 7833
シアトル	8. 20	北米日本人商業会議所秋季総会。	G : 7832
シアトル	8. 24	日本館においてシアトル日系市民協会, 全米日系市民大会開催費用を捻出するため基金募集映画会を開催。	G : 7834
シアトル	8. 31～9. 1	組合教会, 漫礼教会において二世の職業問題・結婚問題に関する連続座談会開催。	G : 7842
セント	9. 2	セント・ハインズスクールにおいて米国西北部日系市民大会開催。	G : 7842
シアトル	9. 15	婦米日系市民協会秋季総会。会長に熊本幸雄。	G : 7853
シアトル	9. 25	『北米教壇』聖戦号配布される。	G : 7861
シアトル	10. 6	長老教会において親子の問題座談会開催。	G : 7871
シアトル	10. 14	国語学校夜学校を開始。中学校以外に子科を5学級に分けて授業。	G : 7878
シアトル	10. 17～20	長老教会, 川守田牧師の歓迎をかねて秋季特別伝道を開催。	G : 7880
シアトル	10. 20	日本館においてシアトル日系市民協会, 基金募集演芸会。	G : 7883
シアトル	11. 3	日本館において婦米日系市民協会, 基金募集演芸会。	G : 7886
シアトル	11. 10	第15回西北部教師懇談会開催。全校52名の教師参加。	G : 7901
シアトル	11. 20	玉壺軒においてシアトル日系市民協会主催座談会。	G : 7910
シアトル	11. 21～22	基督教同盟会主催秋季伝道家庭集会。	G : 7910
シアトル	11. 22	日本館において村山有謙演説。	G : 7912
シアトル	11. 26	日本人漫礼教会において藤村牧師の披手式を挙行。	G : 7915
シアトル	11. 29～30	西北部基督教青年大会開催。	G : 7917

〈1935年〉

1936 (昭和11年)

地 域	月 日	事 項	典 拠
シアトル	12. 11	北米日本人会商業会議所社会部、年末慰問活動に着手。21日より小見整形病院、ジョージタウン郡立結核病院、フレーザーランド結核病院等を慰問。	G : 7936
シアトル	12. —	基督教同盟会の年末慰問。フレーザーランド結核病院13名、ジョージタウン郡立病院14名、ワラワラ刑務所5名、マクネール刑務所15名。	G : 7937
シアトル	1. 10	ワバト美以教会において一世と二世の懇親会開催。	G : 7950
オーストン	1. 12	オーストン日本人会総会。	G : 7958
タマス	1. 19	タマス日本人会春季定期総会。	G : 7958
ワバト	1. 20	ワバト日本人会場において市民協会総会。会長：西村ローイ	G : 7958
シアトル	1. 23	シアトル日采市民協会定期総会。会長：荒井威弥、副会長：中村鶴英、同：西村三郎、幹事：小坂花子、書記：深野敏子、会計：青木二郎、大会代表：野垣健夫	G : 7960
シアトル	1. 27	『大北日報』「特産産業版」を発行。	G : 7962
ヤキマ	1. 26	ワバト会場においてヤキマ日本人会定期総会。	G : 7963
ポートランド	1. 30	日本語学校においてポートランド日本人会第9回定期総会。	G : 7967
シアトル	2. 1	コリンスファミリー・ハウスにおいてシアトル日采市民協会、コミニューティナイト（一世を招待した懇親会）を開催。	G : 7969
ワバト	2. 2	日本人会ホールにおいて市民協会大会開催。	G : 7969
シアトル	2. 2	美以教会において信徒教友大会。	G : 7963
サムナー	2. 15	国語学校ホールにおいてサムナー日本人会創立発会式挙行。	G : 7986

シアトル	2. 19	日本館において太平洋商業銀行25万ドル資金整理委員会定期総会。	G : 7983
シアトル	2. 25	日本館において北米日本人商業会議所春季定期総会。	G : 7990
シアトル	2. 26	『大北日報』 2. 26事件をソングボール発電として報道。	G : 7988
タコマ	2. 27	国語学校ホールにおいてタコマ日本人会春季総会。	G : 7991
シアトル	3. 1	ワシントンホールにおいて日系市民協会、全米日系市民大会賞金募 集のバザーを開催。	G : 7990
シアトル	3. 2	長老教会の川守田牧師、サンフランシスコ長老教会へ赴任。	G : 7972, 7994
シアトル	3. 17	岡本一策領事、領事館に二世の有志80名を招き意見交換討論 会を開催。	G : 7994
シアトル	3. 28~29	第5回西北部仏教青年会連盟大会開催。	G : 8006
オーバソン	4. 5	第4回オーバソン基督教青年会大会開催。	G : 8012
シアトル	4. 6~10	復活祭に際して基督教同盟会、聖週集会を開催。	G : 8025
シアトル	4. 12	北米日本人商業会議所において綿米日系市民協会バザー開催。	G : 8028
ヤキマ	4. 26	ワバト公園においてヤキマ日本人会創立30周年記念祝賀会挙行。	G : 8041
シアトル	4. 26	綿米日系市民協会春季総会開催。	G : 8044
シアトル	5. 24	ワシントンホールにおいて日系市民協会主催ラナー歌手藤原義江 独唱会。来聴者300余り。	G : 8063
シアトル	6. 8	日系市民協会、選挙権行使者の年齢を調べ、21歳以上の日系市民に 市民登録を勧める運動を開始。	G : 8074
シアトル	6. 30	練習艦隊艦手、八雲シアトル入港。日本人社会、熱狂的に歓迎。	G : 8093
タコマ	7. 21~26	タコマ日本人美以教会において第37回太平洋沿岸日本人美以教会年 会開催。	G : 8112~8117
ポートランド	8. 4~6	西北部基督教協議会開催。研究主題「二世教育問題に関する実際 問題」。	G : 8121

シフトル	8. 11	北米日本人会商業会議所において西北部日本人会協議会開催。同協議会は単に指導機関として残ることを決める。	G : 8128, 8129
タコマ	8. 25	国語学校ホールにおいてタコマ日本人会秋季定期総会開催。	G : 8142
シフトル	8. 26	北米日本人会商業会議所、同会議室で秋季定期総会開催。	G : 8142
シフトル	9. 3~7	第4回全米日系市民協会大会。全米38のチャプターから1000名余りが集会。4日シフトル商工会議所において大会宣言、同夜ニューワシントンホテルにおいて1900年以前に渡米したパイオニアを招待した敬老会。大会では帰米日系市民協会の全米日系市民協会との合同可否が問題となる。全米日系市民協会会長にシフトル支部の阪本好徳当選。	G : 8146~8152
シフトル	9. 17	日本人美以教会において美以派西北部会。	G : 8157
シフトル	9. 20	シフトル帰米日系市民協会、北米日本人会商業会議所において秋季総会開催。全米日系市民協会との合同問題は時期尚早につき現状維持と決定(26対8で独立案可決)。	G : 8162
フナイフ	9. 26	フナイフ日本人会秋季定期総会。	G : 8168
シフトル	9. 27	日本人浸礼教会において、9月2日、東京で死去した岡崎福松牧師の追悼会。	G : 8167
シフトル	10. —	帰米日系市民協会機関誌『帰米市民』秋季号発刊。	G : 8188
タコマ	11. 1	タコマ教会ホールにおいてタコマ週報社主催華州児童雄弁大会。	G : 8197
シフトル	11. 1	日本館において帰米日系市民協会、基金募集大演芸会開催。	G : 8195
シフトル	11. 15	シフトル仏教会において同胞物故者無縁大法要。	G : 8207
シフトル	11. 27~28	ワシントン大学基督教会において第7回西北部基督教青年大会開催。	G : 8017, 8020
シフトル	12. 12	北米日本人会商業会議所社会部の年末慰問委員会において救恤婦人	

1937 (昭和12年)

地 域	月 日	事 項	典 拠
ソアトル	12. 13	団編成される。	G : 8037
ソアトル	12. 17	聖公会において基督教同盟会主催河辺貞吉牧師歓迎会。 御下賜金社会事業研究委員会、下賜金の用途決まらず、来年に持ち越す。	G : 8235
ソアトル	12. 20	婦米日系市民協会編集部、機関誌『婦米市民』春季号の原稿募集を始める。	G : 8042 G : 8044
オーバンソ ヤキマ	1. 10 1. 12	国語学校ホールにおいてオーバンソ日本人会春季定期総会。 日系市民協会ヤキマ支部総会。会長に西村義人再選。	G : 8262 G : 8278
ソアトル	1. 18	北米日本人会商業会議所教育・社会両部会連合の結核予防宣伝委員会開催。映画会・講演会・小冊子の配布などを決める。	G : 8265
ポートランド ホワイトリバー	1. 28 1. 30	日本語学校においてポートランド日本人会第10回定期総会。 ソアトルの玉壺軒においてホワイトリバー日系市民協会、晩餐会 長に安村丈次を選出。	G : 8275 G : 8277
ソアトル	1. 31	婦米日系市民協会、事務所をまねき亭地下に移転。	G : 8273
ヤキマ	1. 31	ヤキマ日本人会定期総会。	G : 8278
サウスバーク	1. 31	サウスバーク日本人会定期総会。	G : 8281
タマス	2. 2	タマス日本人会臨時総会。農業組合の組織を決定。	G : 8279
ワバト	2. 6	白人長老教会においてヤキマ日系市民協会、リソカーン・パースデ イ宴会。	G : 8283
グリソレーク	2. 9	国語学校においてグリソレーク日本人会春季総会。	G : 8286

③ 移民年表 日本人移住地

1937年

ソアトル	2. 10～12	聖公会、河辺貞吉牧師の説教による大斉修養会。	G : 8283
ソアトル	2. 15	基督教同盟会総会。役員改選。理事長：藤村牧師。	G : 8289
ポートルランド	2. 19	日光軒において日系市民協会主催史州青年団代表者会開催。各青年団体の会長を評議員とするフレジデント・クララの組織を決定。	G : 8295
オーバン	2. 20	国語学校ホールにおいて父兄と二世の懇親茶話会。	G : 8295
スボーク	2. 20～21	美以教会において東部ワシントン州基督教青年大会。	G : 8289
ソアトル	2. 21	婦米日系市民協会、南6街216番に移転しオーブニングハウス開催。	G : 8292
ソアトル	2. 23	太平洋商業銀行25万ドル資産整理委員会定期総会。53名出席。	G : 8295
ソアトル	2. 24	日本館において北米日本人会商業会議所春季定期総会。	G : 8297
タコマ	2. 25	国語学校ホールにおいて春季定期総会。	G : 8299
ソアトル	3. 4	玉壺軒において基督教同盟会主催津田牧師送別会。	G : 8305
ポートルランド	3. 5	ポートルランド日本人会事務所において史州聯合日本人会第10回定期協議会。	G : 8306
ソアトル	3. 6～7	美以教会において西北部美以婦人大会。	G : 8306
ケント	3. 12	タマス仏教会ホールにおいてヴァレー日系市民協会大演芸会。	G : 8305
ソアトル	3. 17	北米日本人会商業会議所ホールにおいてワシントン州外国人土地法改悪をめぐり土地法の報告と対策を協議。	G : 8306
ソアトル	3. 18	基督教同盟会、ワシントン州の外国人土地法反対の決議あがる。	G : 8314
ソアトル	3. 20	ワシントン州ワーチン知事、外国人土地法（1921年土地法の一部修正法）に署名。	G : 8317
ポートルランド	3. 20～21	西北部仏教青年会聯合大会開催。タコマ優勝。	G : 8317, 8318
ヤキマ	3. 21	ヤキマ日本人会、ワバト会場において外国人土地法をめぐるヤキマ郡同胞農家大会。	G : 8319
ソアトル	3. 23	ワシントン州外国人土地法をめぐり各地代表者懇談会開催。	G : 8319

(3) 移民後日本人西北アメリカ

シアトル	4. 1	日系市民協会会長・弁護士の荒井威弥、シアトル公立図書館のトラスティに任命される（西北部ではじめての公職就任）。	G : 8327
シアトル	4. 11	北米日本人商業会議所ホールにおいて帰米日系市民協会パザール。市内の各日本人教会において木村清末牧師の伝道会。	G : 8336
シアトル	4. 17~21	ワシントンホールにおいて北米日本人商業会議所主催佐藤剣之助（大阪毎日新聞派遣親善使）時局講演会。	G : 8342
シアトル	4. 23	帰米日系市民協会定期総会。	G : 8348
シアトル	4. 25	北米日本人商業会議所において無料種痘接種。	G : 8347
シアトル	4. 27~28	シアトル日本人長老教会を創立した浦中牧師死去。73才。	G : 8351
シアトル	5. 13	日本館において北米日本人商業会議所教育部主催日本女子大学校長井上秀講演会。	G : 8364
シアトル	5. 18	キャピタルヒル無縁同胞墓地の清掃。31日同胞墓参会。	G : 8368
シアトル	5. 23	日本館において北米日本人商業会議所主催母の会。	G : 8373, 8376
シアトル	6. 11	日本館において北米日本人商業会議所主催無料児童教育映画会。	G : 8387
シアトル	6. 19	オレゴン州ワードビルー日系市民協会主催演説会。	G : 8393
ワードビルー	6. ー	北米日本人商業会議所社会部、ジョージタウン郡立病院入院中の同胞患者（男子11名、女子8名）を見舞う。	G : 8397
シアトル	7. 7	『大北日報』盧溝橋事件を「北平附近に日支両軍の衝突／挑発的な北支張自忠軍／死傷は未だ僅少の模様」と報道。	G : 8350
シアトル	7. 8	日蓮宗教会ホールにおいて市民協会主催映画会。	G : 8350
ポートランド	7. 17~18	三州基督教協議会、第7回西北部基督教協議会を開催し、「本協議会は今吾が国難を想ひ、將た又た在留同胞間の実情に鑑み吾等教徒は一層現在の生活を引締り靈的に一段の緊張覚醒せん事を期す」は	G : 8353
シアトル	7. 20~22	か二項を決議。	G : 8361, 8365

ソアトル	7. 23	北米日本人会商業会議所臨時役員会開かれ「北支事変」の事態進展に応じて適切な措置をなすこと、献金・慰問袋等を取りつぐことを決定。	G : 8364
タコマ	7. 29	タコマ日本人会、中国出征日本兵士への慰問袋発送を決定。	G : 8370
ソアトル	8. 3	北米日本人会商業会議所臨時役員会、慰問袋（袋1個の物品価格50セント程度）の募集に着手。聯合婦人会10団体は慰問金募集に着手。	G : 8373
ポートランド	8. 4	史州聯合日本人会実行部、慰問金募集を決定。	G : 8374
ソアトル	8. 4	北米日本人会商業会議所において西北部日本人会協議会開催。各地日本人会の献金・慰問袋送付の際、日本人会協議会が適宜軌旋の勞をとることその他を決議。	G : 8374
タマス	8. 8	国語学校においてタマス日本人会定期総会。国防献金募集、ピクニックの中止等を決定。	G : 8381
オースン	8. 15	国語学校においてオースン日本人会定期総会。	G : 8384
ソアトル	8. 18	聯合婦人会慰問金募集締めきる。募集総額905ドル22セント（日本円換算3100円6銭）、応募人数935名。21日陸軍省へ送金。	G : 8389
ソアトル	8. 19	太平洋商業銀行第6回払戻。最終1割7厘の払戻により閉鎖された同銀行の割戻しは総額6割5分7厘となった。	G : 8385
ソアトル	8. 25	北米日本人会商業所秋季定期総会。	G : 8392
タコマ	8. 25	タコマ日本人会定期総会。26日慰問袋1249袋を日枝丸で発送。	G : 8393
ソアトル	8. 27	北米日本人会商業会議所第1回分慰問袋1000個、慰問金1500ドル（日本円換算3300円）を発送。	G : 8340
ポートランド	8. 31	史州聯合日本人会、慰問金募集締めきる。総額4730ドル87セント。	G : 8398
タキマ	9. 5〜6	商業会議所において西北部日系市民協会大会。出席者241名。	G : 8401

③ 移住者年表(日本人移住者)

ソアトル	9. 12	基督同盟会主催日曜学校クリスマス大会。	G : 8403
ソアトル	9. 12	婦米日系市民協会秋季総会。国防献金15ドルを決議。	G : 8406
ソアトル	9. 17	ワシントンホテルにおいて北米日本人会商業会議所青年部主催・二世諸団休後援「日支事変講演会」。	G : 8408
ポートランド	9. 18	中央聯合日本人会臨時協議会、「時局に鑑み同胞の決意を促す件」その他を決議。	G : 8413
ソアトル	9. 26	婦米日系市民協会臨時総会(日本軍兵士への慰問金を作るため演芸会を開催する件につき協議)。	G : 8416
ポートランド	9. 26	日本語学校ホールにおいて婦米日系市民協会創立総会。	G : 8417
ソアトル	9. —	北米日本人会商業会議所、「事変問答」と題する英文パンフレット1万部発行してアメリカ人諸団休へ配布。	G : 8413
ソアトル	10. 8	領事館に下町大商店代表者・新聞記者等集まり時局委員会を発足。委員長に岡本領事。	G : 8429
ソアトル	10. 13~16	組合教会創立30周年記念運動はじまる。	G : 8432
ソアトル	10. 23	日系市民協会主催コミュニティナイト。	G : 8443
ソアトル	10. 24	日本館において婦米日系市民協会、日本軍兵士慰問金募集演芸会を開催し、11. 11慰問金174ドル44セントの献金を北米日本人会商業会議所に依頼。	G : 8458
ソアトル	10. 27~28	日本館において婦人聯盟主催「支那事変映画の夕」。	G : 8445, 8446
ヤキマ	10. —	日系市民協会ヤキマ支部、国防献金30ドルの送達をヤキマ日本人会に依頼。	G : 8445
タコマ	11. 11	国語学校ホールにおいてタコマ日本人会主催時局懇談会。	G : 8451
ソアトル	11. 12	北米日本人会商業会議所社会部、無料健康診断所開設。受診者21名。11. 19第2回無料診断受診者23名。	G : 8459, 8465

シフトル	11. 14	仏教会において日支事変戦死者大追悼会。	G : 8459
シフトル	11. 15	北米日本人会商業会議所、実行機関として時局対策委員会の設置を決議。	G : 8461
シフトル	11. 28	日本館において北米武徳会シフトル支部発会式ならびに第1回演武大会挙行。	G : 8471

編者注：原本とした国立国会図書館所蔵『大北日報』マイクロフィルム収録は1937年11月30日第8472号までで、1937年12月以降をすべて欠いているため年表記事を作成しえなかつた。以上をもつて「アメリカ西北部日本人移民年表(9)」を終了する。